

グランボア

GRAND BOIS

pour tous les cyclotouristes

すべてのシクロツーリストのために

旅の相棒自転車、 ランドナー

RANDONNEUSE
Mon Vélo Mon Ami

2026

Printemps 2

グランボアブランド 30 周年

感謝

グランボアというブランドは親方の強い思いの下、1996 年に誕生しました。
当時は消え行くばかりと言われていたランドナーの復活を願って、フランスのランドナーの始祖と言われるペロシオの碑が立つフランスの峠の名前を敬意と憧れを込めてブランド名としました。

あれから 30 年。

お陰様で 30 年もの間グランボアはランドナー一筋で仕事を続けることができています。
自転車を消耗品として扱うことなく、一台一台納得のいくものを作り、直し、使い続ける。
今でこそ見直され始めている大量生産、大量消費の時代を、十分な経験もなく、伝手も資金もない 30 代の親方がその熱意だけで駆け抜けてこられたのも、まさに若さと時代のおかげなのかもしれません。

自転車が大好きで、ランドナーが大好きで、自転車の構想を練ることや、組み立てることがもっぱらの仕事だった親方は、
今や自らトーチを握り、フレーム作りまで行います。
そして、このカタログの中にあるようなグランボアのオリジナルパーツやアイデアがたくさん詰まった
唯一無二の自転車を造り上げるまでになりました。

確かに、ランドナーは未だに自転車界での絶滅危惧種筆頭です。
手間だけでなく、知識や技術、経験を要するランドナーはどうしたってお商売には向きません。
ただ、かつてのランドナーは海外からやってきた憧れの対象としての自転車でしたが、今では日本で独自の発展を遂げ、
日本の自転車文化の一端を担う車種にまで育ち、逆に海外の方からご注文をいただくまでになりました。

これは私たちの力というよりは、共に歩き続けてくださった完成車メーカーや部品メーカーの皆様、お取引先の皆様、
メディアの皆様の地道な努力と堅実なモノづくりの賜物です。もちろん、継続して乗り続けてくださるサイクリストの皆様や
新しく興味を持ってくださるお客様が絶えないのもランドナーが必要とされている証です。
心から感謝を申し上げます。ありがとうございます。

これからもランドナー一筋で、グランボアのもとで育った、志を一にする若者とともに進んでまいります。

今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。



1996 年 7 月、面河溪谷にて

グランボア 1 号車にまたがる親方と、出来上がったばかりのサンジェで初めてのロングツーリング中の専務

INDEX

フルオーダーモデル -Full custom made-

- Type Contemporaly - 日本を旅するランドナー -
- Type Contemporaly - 撮影機材のためのランドナー -
- Type Contemporaly - 軽量ステンレスランドナー -
- Type Contemporaly - 大切に育てたランドナー -

レストア施工例 -Restoration-

- ルネエルス René HERSE 1964
- マラストーニ Marastoni 1950' BiciCitta
- アトランティス BridgeStone ATLANTIS

セミオーダーモデル -Semi custom made-

- ER の特徴 -What is ER?
- 作例 -ER New Bike

ツーリングレポート -Touring report-

四万十川源流からの川下り

取扱製品 -Products-



2017年1月、アイズバイク

親方（左）と OYAKATA1 号車を組立て中の野田君（現プラットホームオーナー兼店長）
そして、入社したてで研磨作業中の伊藤君（現アトリエ長）が作業を見つめています。

グランボア フルオーダー

GRANDBOIS Randonneur for touring Japan

日本を旅するランドナー

身長 182cm のオーナー様のためにお作りしました。

使い方に応じてフロントのサイド枠やリアキャリアは簡単に脱着できるよう作製しています。

特大サイズのフロントバッグでもバッグの高さが足りないのでバッグサポーターも特注品となりました。イージー輪行仕様で泥除けの脱着も簡単です。

ポリュミーなバッグ類で一層引き締まる、エレガントでありながら迫力ある一台となりました。

キャリアは一台づつ自転車に合わせて製作します。
バッグや使い方に合わせて製作するので美しく丈夫です。



クロモリフレーム

CrMo



GrandBois CrMo frame 625mm (c/t) /GrandBois Green

Headset GrandBois "RINKO"/BB TANGE "LN7922"/Chainwheel GrandBois+SUNXCD "Cinqfeuille Double" 43/27 /Cassette gear SHIMANO 8s 11-28/Chain SHIMANO HG71/Pedal MKS "Sylvin Touring Next"/Hub GrandBois "LFQR" 36H/Rim GrandBois "Papillon" 650B/Spoke DT "Competition"/Tires GrandBois "Hetre" 650x42B Extra Leger/Front Derailleur SUNXCD "34" /Rear Derailleur Microshift "R47S"/Shift lever SHIMANO SL-R400 /Brake GrandBois Canti "NC MiLAN" /Fender HONJO 50CN /Saddle IDEALE #90/Seat post DIA-COMPE "ENE"/Handle GrandBois"FR" /Stem GrandBois CrMo 90mm/Front & Rear Rack GrandBois Special made/Decaleur GrandBois Special made /Head light SON Edulux 2 /Reflector KIMURA 42mm/Bell VIVA Brass/Bar-tape VIVA cotton varnish finish/Pump Topeak "Road Master Braster"/Frant & Rear Bag BERTHOUD Cycles



ギャラリーページ



ベルトウサイクルの特大フロントバッグとサイドバッグ。
昔ながらの帆布製のバッグは重いがとてもカッコいい。
このセットのバッグだけで 3kg 弱あるにもかかわらず、
ロングセラーの人気商品です。

GRANDBOIS FULL CUSTOM

グランボア フルオーダー

GRANDBOIS Randonneur for a Photographer

撮影機材用ランドナー

写真家のオーナー様は撮影旅行の相棒にランドナーを選ばれました。
着替えなどはフロントパニアを使い、撮影用の機材を入れた専用バッグは、
そのバッグに合わせて特別に製作した大きめのリアキャリアに固定します。荷
物をできるだけ軽くするためにバッグ類はグランボアの超軽量バッグ、ランブ
イエを選ばれました。

GrandBois full-custom frame 600mm (C/C)
Paint "DR Violet Metallic"
Headset: GrandBois "RINKO"
BB: TANGE LN7922
Chainwheel: GrandBois+SUNXCD "Cinqfeuille" 36T
F&R hub: GrandBois LFOR 32H
Rim: GrandBois "Papillon" 650B
Tire: GrandBois Hetre 650x42B Route Forestiere
Rear derailleur: SRAM RIVALI
Shift lever: SRAM RIVALI 11s
Chain: SRAM RIVALI
Cassette: SRAM FORCE1 11s 11-36t
Brake: GrandBois "NC MILAN"
Fender: GrandBois GB650ML
Saddle: IDEALE #90 TIAI
Seat post: Gran-Compe "ENE"
Handle: GrandBois FR-G410 Grooved
Stem: GrandBois Alloy 60mm
R&F Carrier: GrandBois custom made "Easy detachable"
Decaleur: GrandBois Special made
Head light: CATEYE EL-160+CFB-100 modified
Rear light: GrandBois "LUNE"
Bar-tape: VIVA cotton /varnish finish
Bags: GrandBois "Rambouillet"



クロモリフレーム

CrMo





ギャラリーページ



高さが合わないバッグをを使いたい場合はバッグサポーターをワンオフで製作し、高さを合わせることが可能です。見た目が良くなるだけでなく、安全性もアップします。



グランボアのテールライト"LUNE"は工夫次第で様々な場所に取り付けることが可能です。今回は後の荷物に隠れないよう、この位置にシートピンを使って取り付けました。

カスタムキャリアはハンドメイド自転車のもう一つの肝ともいえるところ。どんな旅をしたいのか、何を運びたいのか、よく考えてオーダーしていただくより良い目的に合ったあなただけの自転車が出来上がります。

グランボア フルオーダー

GRANDBOIS Light Weight SUS Randonneur

軽量ステンレスランドナー

最新パーツで製作したグランボアのランドナーを気に入っていただき、ステンレスフレームでの一台をご注文いただきました。高剛性かつ、しなやかな乗り心地の軽量ステンレスフレームに、パセンティのリムとグランボア・エキュレイユのタイヤの軽量セットで正に軽やかに走るランドナーが出来上がりました。

更にあちこちに軽量パーツを使って組み上げ、フロントバッグ込みの車体重量が 10.8kg。バッグ無しだと 10.5kg を切る計算です。



仕上がったばかりの
ステンレスフレーム

ステンレス
フレーム
SUS



チェーンホイールは僅かな期間生産されたプロディリミテッドのクランクに、フランス TA のナローワイドのリングを組み合わせました。12 速のスラムレッドに対応しています。



ステンレスフレームの製作秘話

グランボアのステンレスフレームは基本ラグレスです。

当然ながら、ステンレスフレームの製作にはステンレス製のフレーム部材が必要です。例えば、フレームエンドやアウターカップ、ブレーキ台座やテール台座、左の写真のシートステーのキャップもそうです。クロモリのように既製品が用意されているわけではなく、その都度小ロットで製作します。

それに、ロウ材は真鍮ではなく銀ロウを使います。

ステンレスパイプも高価ですが、ロウ材もばかになりません。

残念ながらステンレスのフォークブレードはクロモリのように簡単に曲がりません。

グランボアが造るランドナーのフォークオフセットは 60mm 前後あるので下手をする
とパイプがへしゃげてしまい使い物になりません。

フロントフォークはクロモリで製作し総メッキで仕上げます。

雨の日でも、海辺の街でも、メンテナンスが簡単で乗り心地も抜群！

親方は専らステンレス車ばかり乗るようになってしまいました。

「造るのは大変だけど、扱いやすくて乗りやすい。」のだそうです。



ギャラリーページ

グランボアのフロントバッグ・アンペールは帆布と縁取りに革を使っていますが、薄手の帆布を採用し、バッグ本体の重量は 350 グラムほどです。

イデアルサドルは一枚革で昔ながらの重厚な作りですが、チタンレールとアルミリベットで従来の鉄ベースに比べ、30% 以上も軽量化を実現しています。

カーボン製の黒いブレーキレバーはメッキ調ペイントでポリッシュ仕上げのフレームに合わせました。

フロントパニアキャリアだけでなく、バッグサポーターや前後のアウター受けなどの小物の多くもステンレスで内製しています。

Frame : GrandBois OYAKATA Stainless 540mm (C/T)
 BB : TOKEN Titanium TK868CT
 Chainwheel : TA PRO5vis N/W 38t + SUGINO PRO dynamic limited
 Pedal : MKS Sylvain Touring Next Easy Superior
 Components : SRAM RED AXIS
 Brake : GrandBois NC MILAN
 Brake Lever: SRAM RED AXIS
 Handle : GrandBois FR Grooved 410mm
 Stem: GrandBois CrMo 70mm
 Rim: Pacenti BREVET 650B/32H
 Tire : GrandBois Ecureuil 650x38B
 Light : SON Edulux2 + KIMURA TL-06D
 Dynamo: SON Delux Wide SL
 Saddle : IDEALE #90 TiAL
 Rack+Decaleur: GrandBois ER style SUS
 Bag: GrandBois Ambert2017

グランボア フルオーダー



ギャラリーページ

GRANDBOIS Randonneur "Cultivated"

大切に育てたランドナー

セミオーダーモデルのER650を2016年にお納めしてから2022年に部品をバージョンアップ、そして今回更にフレームをフルオーダーの親方フレームへと進化させました。オーナー様が一段一段ステップを上るように確かめ、選び、たどり着いた、最新のグランボアがたくさん詰まった一台です。

鍍金出しと塗り分けがとても美しいフロントフォーク
詳しい解説は次ページ下のコラムをどうぞ。



クロモリフレーム

CrMo



前後のライトのスイッチをステムに組み込みプッシュボタンで簡単に操作できるように加工しています。それまで使用していたSONのフロントライトはフェンダー先端取り付けのグランボア・メティオへ変更、キムラ製作所製のTL-06Dのリアライトと共にステムスイッチでコントロールできるようにしています。



Frame: GrandBois CrMo frame 520mm (C/T)
 Paint: Feather Brown w/plating and gold lines
 Headset: GrandBois "Vintage"
 BB: TANGE
 Chainwheel: GrandBois Cinqeuille 40T
 Cassette: SHIMANO CS-M8000 11-40T
 Chain: SHIMANO CH-HG901
 RD: SRAM FORCE CX1
 Shift lever: SRAM FORCE1 11s
 Hub: GrandBois LFOR 32H
 Rim: Pacenti 32H
 Spoke: DT Revolution
 Tire: GrandBois Hetre 650x42B Red
 Brake: GrandBois NC MiLAN
 Fender: HONJO H50C
 Saddle: IDEALE #90 TiAL
 Seat post: Gran Compe
 Handle: GrandBois FR Grooved
 Stem: GrandBois CrMo 60mm w/switch for lighting system
 Dynamo: SON28 SL
 Head light: GrandBois Meteo Ver.2.0
 Tail light: KIMURA TL-06D
 Bell: VIVA Alloy
 Front Rack: GrandBois Special made ER Pannier
 Decal: GrandBois
 Bar-tape: GrandBois Leather
 Bottle cage: Nitto "T"

魅せるメッキ

メッキをかけるだけなら簡単です。
 ですが、綺麗に光らせるためには下地を磨く必要があります。ホイールの脱着で塗装が剥がれやすいエンドあたり面のみメッキで済ませようと思っても、実際には「魅せるメッキ」の場合はメッキの工程の前に研磨が入ります。

塗装も塗分けの箇所に応じてマスキングして行います。「魅せるメッキ」が多ければ多いほど手間がかかります。また、最近流行りのフェザーシリーズの塗装は下地のメッキを生かした塗装なので「見えないメッキ」ではありますが、鳥の羽のように煌めく塗装のためにメッキをかけます。

フォークの「魅せるメッキ」は肩の部分と大胆な逆剣先の塗分けで、とてもシャープな印象で効果的。しかも、2枚肩の内側にも金色を塗っています。

自転車を見る時、この金色が角度によってチラリと見える。
 なんと不思議ですね。

メッキは高価ですが、とても魅了されてしまう方が多いのです。
 あ、そうそう、メッキは保護や錆防止ではありませんのであしからず。



専務のランドナーで使った深みのあるメタリック系の「フェザーブルー」のブラウン版「フェザーブラウン」に塗られています。

GRANDBOIS FULL CUSTOM



グランボア レストレーション



ギャラリーページ

René HERSE 1964 left for a long time during restoration

未完のまま眠っていたルネエルス

MAFAC のブレーキ TOP63 と Simplex の超希少変速機 JUY Record60 が組み付けられた状態で見つかったエルスの半完成車をレストアしました。フレームは塗り替えられてましたが、ラグ部の仕上がりが元々オールメッキで仕上げられていたと分かります。塗装と元のメッキを剥離してフレームを再研磨し、メッキをし直しました。

エルスのオリジナルパーツはどれも入手が難しいものばかりです。通常はレプリカパーツを用意するのですが、今回はタイミング良く手に入り、完成させることができました。



BEFORE RESTORATION



GRANDBOIS RESTORATION



RH Stem

フレームに付属していたステムはベル穴を埋め、研磨で仕上げています。ボルト類は再鍍金。

MAFAC TOP 63

アーチや舟を研磨し、小物には再メッキを施したブレーキアーチ。欠品していたチドリも RH オリジナルを用意した。

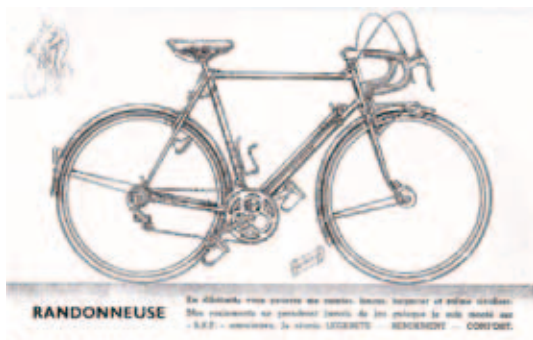
Simplex JUY Record 60

超希少な新品。こういった替えのきかないパーツの一部の部品が欠品するだけでレストア作業は頓挫してしまう。やり遂げるのは至難の業だ。

JOS 431C RH Special

この手のライトを直付け加工するとステーのための穴跡が残るのだが、ステーを使わず直付けするエルスの場合は直付専用モデルとして穴のない物が用意されていた。

AFTER RESTORATION



1960年代のエルスのカタログ

René HERSE 564 /545mm (C/C)
 Headset: StrongLight "V4"/BB: René HERSE SKF bearing/Chainwheel: René HERSE original crank+replica rings/F&R hub: René HERSE Special Large Frange/
 Rim: GrandBois "Papillon Vintage" 650B/Tire: GrandBois CerfVert 700x28C/
 Front derailleur: Simplex LJ23/Rear derailleur: Simplex JUY RECORD60/Shift lever: Simplex JUY RECORD/Chain: Brampton/Free Wheel: CYCLO/Brake: MAFAC TOP63/Fender: GrandBois PJ700 w/line/Saddle: IDEALE #80 Record/Seat post: René HERSE 25.0mm/Handle: GrandBois Prallel MAES 410mm/Stem: René HERSE 90mm/Carrier: René HERSE/Head light: JOS 431C René HERSE Special/Rear light: JOS FU René HERSE Special/Dynamo: JOS Type X René HERSE Special

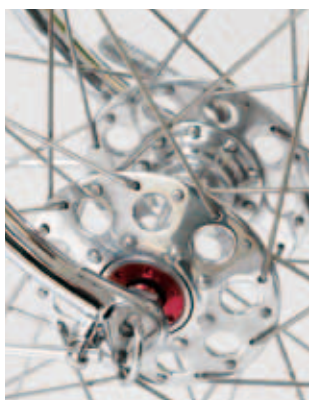
新しいオーナーの好みを反映した
 セッティングになっています。



JOS FU RH Special
 テールも同様、エルスのオリジナルは取付台座のための穴が予めボディに開いていない。この場合、JOSの刻印も一切入っていない。



JOS TypeX RH Special
 ダイナモもエルススペシャルモデルが存在する。ダイナモ起倒レバーのスチール部分がクロムメッキされているのが特徴だ。



Maxi-Car hub RH Special
 エルスの工房でグランフランジ化されたエルス純正のオリジナルハブ。とても貴重な物だが、インパクトがあるだけに、使いどころは難しい。



ギアの歯数にこだわりがある新しいオーナーの希望でリングは新たにレプリカを製作した。クランクはオリジナルを研磨。チェーンリングの面取り加工はオーナーの希望で通常より深めに削っている。

グランボア レストレーション

Marastoni BiciCitta 1950'

マラストーニ 1950 年代 シティバイク

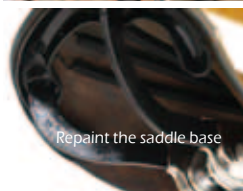
知る人ぞ知るヴィンテージ自転車マニアが集うポリージャパンの 2025 年のテーマ部門でのお題を下に組み上げた一台です。

お題はカンパニョロ・グランスポルト・エキストラ。

この変速機は現在使われているディレイラーの基本的動作方式であるパンタグラフ式ディレイラーの元祖ともいべきモデルで 1950 年から 1952 年のわずか 3 年間に生産されていた超希少モデルです。

このグランスポルト・エキストラのデザインはその後グランスポルトからレコード、そしてスーパーレコードへと、1980 年代の末まで 30 年以上にわたって受け継がれるのです。その力強いギリシャ彫刻のような造形は、1950 年代から 70 年代のロードレース用機材におけるカンパの勝利とシンクロして常に憧れを持って受け止められていました。

ですが、その源流となったグランスポルト・エキストラを使った実車はほとんど目にすることが無く、現代においてそれを仕立てるとなると、そのコンセプトやスペックを具体化するのになかなかの想像力を要求されることとなります。その結果、1950 年代の希少なパンタグラフ式変速機と 1950 年代のマラストーニの街乗りフレーム、そして、そこにグランボアのアイデアを少しプラスした新しい仕上がりとなりました。



親方解説

製作経緯 ブログ抜粋 ----- もっと詳細を知りたい方はブログをご覧ください。→

フレームはイタリアの友人から譲り受けた古いマラストーニの街乗りフレームです。このフレームはブレーキケーブルと変速ケーブルが内蔵で、ステッキ型チェンケースのための台座がついていて、フロントフォークには右ダイナモ用の小振りなステアーが取り付けられています。塗装はパッチを外すと元々のブルーメタリックがでてきたのですが、再塗装されていたグレーのメタリック色がなんとなく渋かったのでこの再塗装のガンメタの明るめの色で塗り直すことにしました。

この変速機を使用するのはフルスペックのレーサーモデルではなく、街乗り用の自転車になるのだから、そしてそれにシングルレバーを組み合わせてみてはどうか、とボンヤリ考えていました。でも純正のハンドル用レバーは実物すら見たことのない超レアもの。そこで思いついたのがレバーをハンドルに直付けすることでした。幸い直付けレバー台座はいくらでもあります。そしてチネリの鉄のステムブレーキレバー一体のフラットバーも幾種か在庫したので、その中からメッキをやり直さなければならぬものを加工してメッキをかけ直すことにしました。これがこの自転車のミソ、シフトレバーハンドル直付け仕様というおそろく前代未聞のスタイルです。またシフトレバーが最初期グランスポルトのレバーですのでアウターを受ける部分がしっかり受け止められる形になっていて打ってつけでした。このレバー以降の新しいカンパレバーではダメだったのです。

フェンダーはオリジナルと思いきやフレームに当てがってみると下ブリッジへの取り付け穴の位置が一致しません。オリジナルではないのかと思いつつ、リアフェンダー用のステーの形状が気に入ったのでこれを採用します。材質はステンレスで当時のビアンキなどにも使われていたものと一緒です。これをまず磨いて傷を消しておきます。フェンダーが光るとステーの取り付け用の金具（カンザシ）の座が気になってきます。元々

亜鉛メッキ仕上げですので研磨の必要もなし、とりあえずカシメをほどいて全部外します。ステーはといえどもメーカーが製作したとは思えない加工具合です。フロントのエンド部での固定部分の曲げ加工があまりに大雑把だったので曲げ直しました。気に入るまで曲げ直していたら片方が折れてしまい 4mm の鉄の丸棒から作り直しました。ただそのままの生の鉄棒では柔い、トーチで炙って赤く焼いてから水の中へジュ！これでしっかりした固いステーになりました。カンザシへの固定用ナットも一部なくなっていたので改めてサイズの合う袋ナットを使って用意しました。ステー類はすべて青味を抑えたユニクロメッキ仕上げです。

サドルはセライタリアの一枚革、鉄の板ベースのもの、裏側にスプリングが貼られたまさに街乗り紳士用です。サドルの両サイドはイタリアの地図が刻印されています。ベースが錆びていたのでうちの塗装屋さん無理を言って塗ってもらいました。

最後にライトです。イタリア物の右ダイナモも無いことはないのですが、ふっとい胴の重たそうなものしかありません。ランプもダイナモに同調するかのように大きな砲弾型になってしまします。700C の細い線で構成されたシティバイクにこれはないよな、と思い、閃いたのがアイズでも扱っている Kiley のランタン型の USB 充電ランプです。これは Kiley の最初のころの製品で、台北ショーで初めて彼らの製品を見つけた時に出していたものです。そのデザインが細くクラシカルで、フロントフォークのダイナモステーに取り付けても似合うと思ったのです。





ヴィンテージパーツ

AFTER RESTORATION



美しいハンドルの曲線に惚れ惚れ。



GRANDBOIS RESTORATION

Frame : Marastoni 1950' Replated and repainted
BB : FB
Chainwheel : ITALIAN Chainring changed the thickness for 5s
Deraillieur : Campagnolo Grand Sport Extra 1952
Brake : AGRATI side-pull re-plated
Handle : Cinelli with a stem and brake lever brackets, replated
Saddle : Sella ITALIA replainted the base
Tire : GrandBois CerfVert 700x28C
Light : KiLEY LED operating a Battery



グランボア レストレーション



ギャラリーページ

BRIDGESTONE "ATLANTIS"

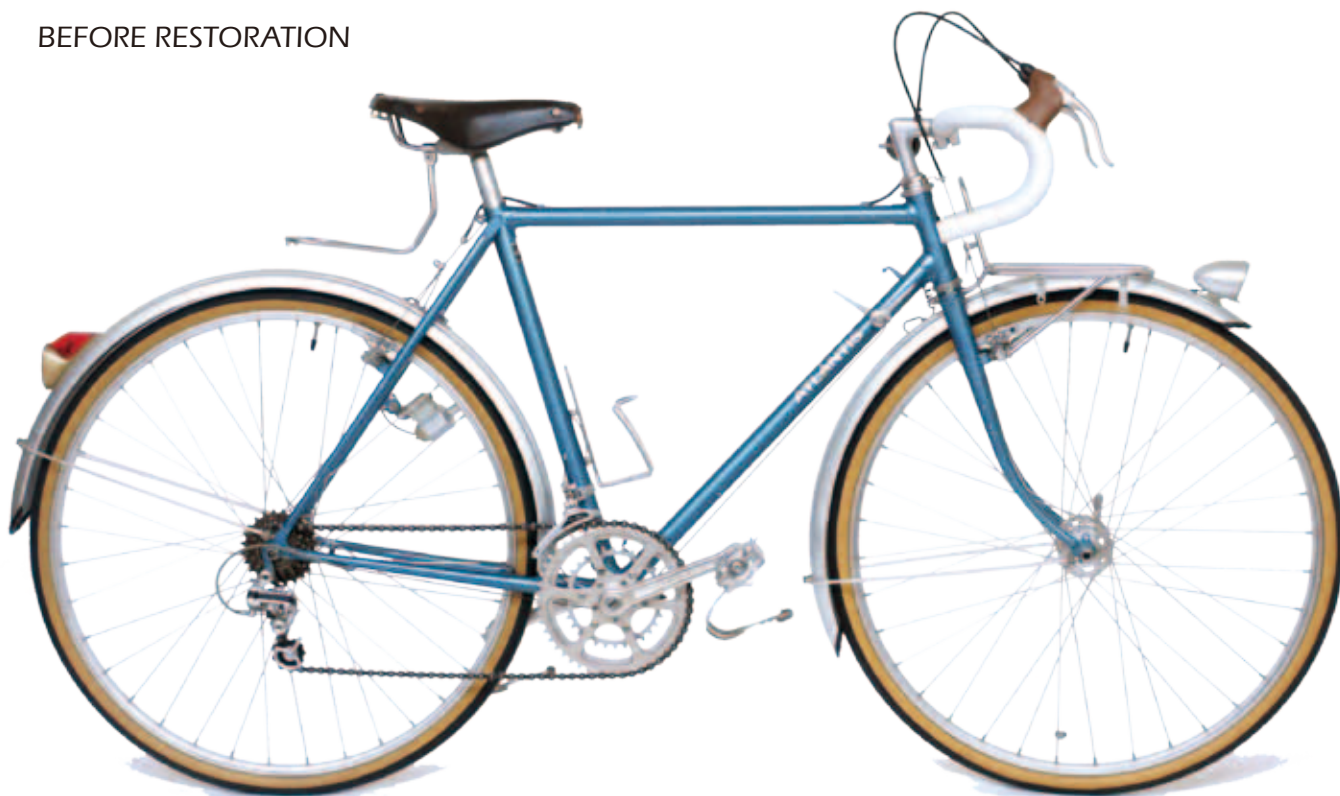
ブリヂストン アトランティス

オークションで手に入れた初めてのランドナーをピカピカに。
 そんなご依頼で持ち込まれたのはほとんど乗られていない1980年代マスプロ車、
 最上位クラスのブリヂストンアトランティスでした。かつてないご依頼でしたが、さ
 すがはブリヂストンの当時のフラッグシップモデル、長距離ツーリング車として正しいジ
 オメトリーでしっかりと造られていて、メッキの仕上がりもすこぶる良く、日本のマスプ
 ロ車のポテンシャルを再発見するレストアとなりました。

1981年の雑誌の広告



BEFORE RESTORATION



GRANDBOIS RESTORATION



ラグのエッジがキリッと立ち上がり、
 BBの裏まできれいに乗った美しい仕
 上がりのメッキ。



テールライトの直付け台座と、ダイナ
 モ起倒レバーのためのレバー台座を
 追加工。乗車しながら安全にライトの
 オンオフが可能となりました。



フロントライトはソービッツピン球に交
 換。ケーブル類はキャリアの枝の内
 部を通してスマートにセッティング。ブ
 レーキ台座はミランと互換あり、制動
 カアップ。

AFTER RESTORATION



Frame: BridgeStone ATLANTIS/Tout Crome
Chainwheel: GrandBois Cinqfeuille Double
Pedal: MKS Sylvain Touring Next
FD: Microshift R52s
RD: Microshift R47 GrandBois SP
Brake: GrandBois NC MILAN
Handle: Nitto B135
Saddle: IDEALE #90 TIAL
Hub: GrandBois LFQR
Rim: GrandBois Papillon 650B
Tire: GrandBois Hetre 650x42B
Front Light: Soubitez Ball type
Rear Light: KIMURA TL-06D
Dynamo: Soubitez 12N
Rack: GrandBois custom made
Bell: BridgeStone



グランボア セミオーダー



輪行関連ページ



ER モデル作例ページ

セミオーダーとは、フレームサイズとタイヤサイズを規定の中からお選びいただき、ご予算や使いたいシーンに合わせて仕様を決めていただくモデルです。
フレームカラーは自由、使いたいパーツは持ち込んでいただいてもかまいません。
完成車でのご注文はフレーム関連以外のパーツ / 用品をすべて 1 割引とさせていただきます。
(フルオーダー / セミオーダー 共)

イージー輪行

Easy RINKO

グランボアのセミオーダーフレームは泥除けが前後ともとても簡単に脱着できる仕組みが標準装備されています。わずかなステップでロードバイクと同様の輪行ができ、必要に応じて更にコンパクトになるフォーク抜き輪行も可能です。
ホイールサイズによって 2 種類をご用意しています。のんびりと疲れ知らずの旅を楽しみたい方は 650 B を、少しスピードも楽しみたい方は 700C をご検討ください。



フレームサイズの選び方

【ご来店いただける場合】

ご使用方法や乗り方・ご希望等をお伺いし、まずは大体のお見積もりをさせていただきます。ご注文が確定しましたら、店頭でメカニックがおお客様の適正なフレームサイズを測定させていただきます。

【ご来店が難しい場合】

だいたいのご要望をお知らせいただければお見積もりさせていただきます。今までにランドナーに乗った経験のない方でも市販のロードバイクやマウンテンバイクで長距離走行の経験があり、自分の体に合ったバイクにお乗りの方は、そのバイクの B B 芯からサドルトップまでの長さを測ることでフレームサイズを決めることが可能です。ただし、このサイズもあくまで目安です。ご注文確定後に更に詳細をお聞きし、ご希望に沿うランドナーをお届けします。

【スポーツタイプの自転車初めての場合】

全く初めてランドナーから始められる場合は、まずは標準的な寸法 of the フレームをお勧めします。そのための採寸ですが、サドルを上げ下げすることができればミニサイクルでも普通の 26 インチ車でも OK です。サドルに跨って、足をまっすぐ伸ばして、かかとがペダルにぎりぎり接するまでサドルの高さを調整してください。膝に余裕がなく足がピンと伸びて、かかとがペダルに丁度着くぐらいを目安にしてください。ペダルを回してお尻が左右に振れないぐらいがベストです。この時の B B 芯からサドルトップの長さをお知らせください。ハンドルステムは身長に応じて標準的な寸法で用意させていただきます。

イアーール 650

ER650

フレームサイズ
480/500/520/540/560/580/600/620mm
タイヤサイズ 650 × 36B/38B/42B

seat tube	top tube	head angle	seat angle	fork offset	bb drop	rear center
480	500	71	74	60	65	430
500	520	71	74	60	65	430
520	525	71	73	60	65	430
540	535	72	73	60	65	430
560	545	72	73	60	65	430
580	560	72	73	60	65	430
600	570	72	73	60	65	440
620	580	72	73	60	65	445

イアーール 700

ER700

フレームサイズ
510/530/550/570/610mm
タイヤサイズ 700 × 28C/30C

seat tube	top tube	head angle	seat angle	fork offset	bb drop	rear center
510	530	72	73	55	75	435
530	540	72	73	55	75	435
550	545	72	73	55	75	435
570	550	72	73	55	75	435
590	560	72	73	55	75	435
610	570	72	73	55	75	435

グランボア セミオーダー



ギャラリーページ

ER650 Tire: 650x38B Ecureuil

チェーンリングを自作するほどのベテランのお客様からのオーダーです。お気に入りのヴィンテージパーツを使いつつ走りには軽さを求めたツボを押さえた仕様になっています。テールライトの直付け台座もオプションで承ります。



Frame GrandBois ER650 540mm/Headset GrandBois RINKO/Chainwheel TA Triple + Original outer ring 160mm 50-44-30T/Hub GrandBois LFQR/Rim GrandBois Papillon/Tire GrandBois Ecureuil 650x38B/Front Derailleur + Shift lever Campagnolo Record/Rear Derailleur Campagnolo Rally/Cassette SHIMANO CH-HG50-8/Chain Cede Sports/Brake GrandBois NC MILAN/Brake Levers Dia-Compe GC160/Fender HONJO H47N/Saddle IDEALE #88/Seat post Gran-Compe/ Handlebar GrandBois PM410/Stem GrandBois CrMo 60mm/Front Rack Nitto M21/Tail Light GrandBois LUNE/Reflector KIMURA 38mm

ER650 Tire: 650x36B Lierre

ヴィンテージパーツのサンツアー・シュパープテックとEQUALKの変速レバーで手元操作のシフトができます。



ER650 Tire: 650x42B Hetre

グランボアの入門モデルのエトワールからの組み換えでバージョンアップされた一台です。ブレーキには NC ミランを採用し、ホイールも組み直し、ハブダイナモとカーボンブラシで前後のライトを制御できるようになりました。メテオ Ver.2.0 を最初につけていただいていた一台です。



Frame GrandBois ER650 530mm+Tail Light boss
Headset GrandBois RINKO/Chainwheel SUGINO XD2/Rim GrandBois Papillon 650B/Tire GrandBois Hetre 650x42B STD/Front Derailleur Microshift R539/Rear Derailleur Microshift R47/Shift Lever Dia-Compe/Brake GrandBois NC MILAN/Pedal MKS Sylvain Touring/Fender Honjo H47C/Saddle BROOKS B17/Seat post Gran-Compe/ Handlebar GrandBois FR410/Stem GrandBois AL/Head Light GrandBois Meteo Ver.2.0/Tail Light KIMURA TL-06D/Dynamo SON SON28 SL

四万十川水源巡りからの川下り



Ride with GPS

今回の旅のテーマは「ヤイロチョウ」。

高知の山の奥に夏だけ声を響かせる幻の鳥がいるとのことと出会いを求めてプランを立てました。長年行きたいと思っていた四万十川源流へのツーリングも盛り込んだ、トレッキングと輸行もありの充実のプランです。

The theme of this journey is the "Yairo-Bird."

We heard there's a phantom bird echoing its call deep in the mountains of Kochi only during summer, so we planned this trip in search of an encounter for the bird. It's a fulfilling itinerary that includes trekking and bike transport by car and train, plus a long-awaited tour to the headwaters of the Shimanto River.

ENJOY THE RIDE

DAY1

Kyoto JR Susaki-Station Tsuno, Kochi

京都 ⇒ 須崎駅前 ⇒ 高知県津野町 約 400km/ 車 + 32km/ 自転車



Ride with GPS

坂本竜馬脱藩の道を辿る Ryoma's Escape Route

朝 6 時に車で出発。

帰りは輸行で車まで戻ることを考慮して JR 土讃線・須崎駅近くの駐車場に車をデポする。国道 192 から県道 377「坂本竜馬脱藩の道」へ入り、布施ヶ坂峠へ。結構な上り坂だが、中腹から峠近くまで見事な茶畑が山肌に広がり、見惚れながら走っているうちに峠についた。この日は峠からはほど近い、四万十川源流の里・津野町船戸に宿をとった。

坂本竜馬脱藩の道は立て看板が小さいながらも要所要所にあって迷うことはない。



須崎駅駐車場 Suzuki St. parking

JR 須崎駅隣接の駐車場は無人駐車場で、管理人を探すのに少し苦労した。結局、駅前の観光案内所に相談して連絡を取ってもらうことができた。

布施ヶ坂峠 Fusegasaka pass

標高 403m

峠からはあまり展望はなく、峠の東側の茶畑の方が見ごたえがある。



DAY2

Tsuno

Source of the river

Shimanto

津野町 ⇒ 四万十川源流 ⇒ 四万十町 57.4km/ 自転車 +2km/ 徒歩



Ride with GPS

四万十川源流地点 Source of the Shimanto River

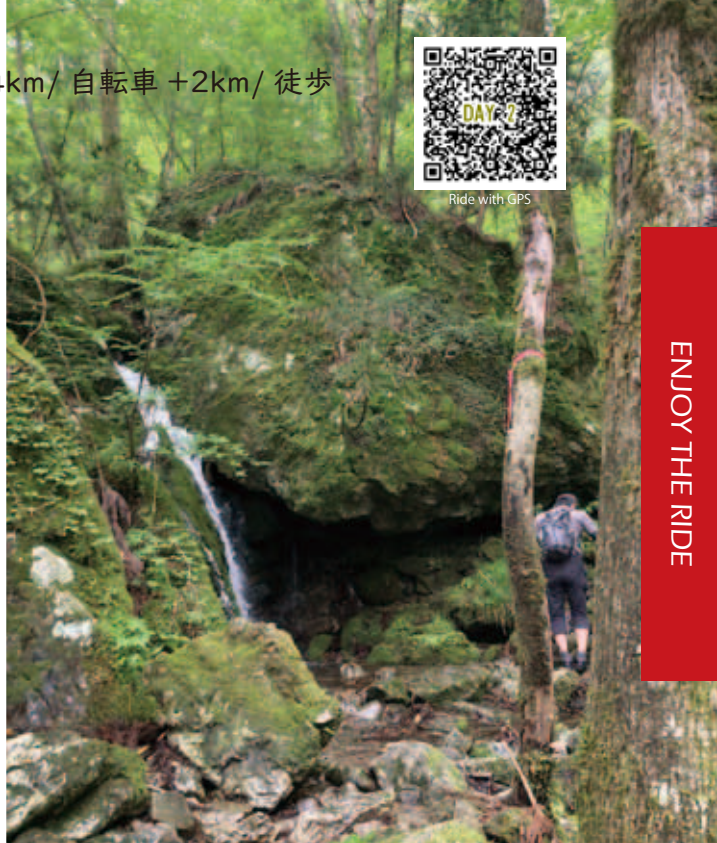
源流の入り口の駐車場までは宿から7kmほど。

実際の源流地点までは徒歩で1kmだ。

宿の標高が約430m、自転車で行ける源流の入り口では標高は900mを超える。そこから更に1200m地点まで歩いて上ることになる。

私たちはチェックアウトの後、最小限の荷物を自転車に積んで、残りは宿に預けて源流地点まで往復することにした。源流入り口の駐車場では自転車から離れることとなるが、鍵をかけ、フロントバッグを持参したナップサックに詰め替えて、山道へ入る。

行きには2時間ほど要したが、帰りは速い。30分ほどで宿まで戻ることができた。



ENJOY THE RIDE



今回も歩き優先の靴を使った。

ペダリングには不利だが、源流地点までは水の流れる岩場に行くのでワインディングや底の硬いサイクリングシューズでは危ない。

フロントバッグは超軽量のランブイエ。中身を出してリュックに詰め替えれば、サポーターを付けたままでも丸ごとリュックに入れることができる。これで両手が完全に開いた状態で歩くことができる。

DAY3

Shimanto

TSUGA Dam

West Tosa

四万十町 ⇒ 津賀ダム ⇒ 西土佐 78.2km/ 自転車

幻のヤイロチョウ The Phantom Yairo Bird

高知の森にやってくる幻の夏鳥のヤイロチョウに会いたくて、観察小屋のある津賀ダムまで往復したが、結局今回は鳴き声すら確認できなかった。さすが、超希少なだけあってなかなか簡単には会ってもらえない。その代わり、四万十川沿いではアカショウビンやウグイスが絶えず鳴いていてこれはこれで感動もの。特にウグイスは惚れ惚れするようなさえずりを響かせてくれた。

いくつもの沈下橋を渡り、予定通り順調に走っていたが、午後からの天気が崩れてきた。明日は更に大雨となるとのことで、急遽、親方は最寄りのJRの駅から輪行で車まで戻り、この日の宿まで車で入ることとする。電車の時刻に輪行の時間的な余裕が無いので専務は一人で宿まで自転車で向かう。

車を道の駅ではなく、JRの駅近くにデポした理由がここにある。

翌日は大雨の中を走ることなく、そのまま車で京都まで戻ることができた。



Ride with GPS

Take a trip on a bicycle.

Rice paddies & submerged bridge
Simanto-River in Kochi

サイクルグランボア株式会社

直営店 アイズバイシクル

〒616-8005 京都市右京区龍安寺塔の下町1-8
Tel: 075-461-0835 Fax: 075-461-0836



ホームページ



フェイスブック



インスタグラム



マップ